

本校ウエイトリフティング部が南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

南日本新聞 2023年(令和5年)6月2日

### 町内唯一の高校にエール 部活生に地域支援続々

薩摩中央高

さつま町虎居の薩摩中央高校の部活動に、地元企業から寄付金や用具の提供が増えている。町内唯一の高校として頑張っている生徒を支え、地域を盛り上げてもらおうと活躍に期待。生徒側も「いい成績を残して恩返ししたい」と話す。  
5月23日には、コメの精米・販売を手がける「谷口商店」(田原)の関係者が来校。全国大会などへの出場で遠征費確保に苦慮しているウエイトリフティング部に寄付金を贈った。同社は、昨年度から同部



員に集荷作業などを手伝ってもらった応援米を販売。今回の寄付に売り上げの一

地元企業から寄付金が贈呈された薩摩中央高校ウエイトリフティング部。さつま町虎居部も盛り込んだ。専務の谷口雄一さん(38)は前身の旧宮之城高卒。弟で常務の勝規さん(29)は薩摩中央高卒。後輩たちの頑張る姿が、自分たちの励みになる」と話した。  
4月下旬には電子部品製造の「鹿児島マテリアル」(柏原)が、本年度から部に昇格した女子バレーボール部にボール20個を寄贈した。用具が不足する窮状を聞きつけ支援を申し出た。

(山田天真)